



此頃の御料理

最近の讀新聞に載せられた御料理は先づこんなものであります。御試みしなきつて如何。

○牛肉の清汁

性の大きな塊の、二つ割りにしたるを湯本口に直すし、長二寸五分程に切りたる葱と共に鍋に入れ。醤油出汁を先方量ふ程に注して中火にかけ。葱の煮えたる頃大きく切にした牛内を入れてさづと煮、半なり酒屋入りへ煮付ぐるみにかけ。粉山椒をふりかける。

○刺 飯

刺飯 来二升に鶏の胸肉一合五勺の割合とし飯を普通より鹽水加減に仕がけ、醤油をぬる邊に一握醤油へ、飯の味を整めたる時前も刷身をがきよごへ飲ふと上げる。成るべくは土管にて一人胸づたる溝付を施さる。

○貝の柱清汁

貝の性清汁 馬鹿貝の性を底に入れて水中にて茹り、餘して冷な流し等を切り小鉢に取り醤を加へたる後を醤油出汁にて温めて、碗に回盛し、撒し放しの大根おろし一握を加へたる上より食拂し、炊くがよろし。

○甘露饅頭

甘露の皮を剥きて底丁し底汁ぬきなし、少量の水にて蒸し加減に茹でたるは皆時冷却して手にて捏ら、砂糖を振り混ぜたる甘味噌を餡にして饅頭にこしらへ。地爐に日胡麻を磨けたる上に炙き並べ、平たく押し漬して兩面を焼く。

○ビーフ味噌あへ

えび牛の軟かな部分を勿外粗細く切つて、沸騰湯の中に入れて火を通るまで煮て、底に揚げて水風を去り暫時冷まし、味噌三十分程外で切つて裏被にかけ、西界からしな茶匙二杯、上砂糖茶匙一杯とな入れて煮く振り、時至くを漸次に入れて振り延ばし其中に牛内を入れて温め、合せ之を五人前位に盛り入れて其上に西洋をりふりかける。

○キヤベーディとバインナツ・サラダ

一、キヤベーディを水にて洗ひ細く切り、鹽水の中に三十分浸置くバイナップルは外皮を取り去り茎に四割として、殻より薄く切り墨をキヤベーディの水より取上げ、跡の中に三分間浸し置きバイナップルと交ぜ、其上にカリイトソースを掛けて供す二、カリイトソースを調査中匙二杯のバニラを鍋に入れて溶し、メリケン鮮同一杯半入れて只く液を去せざる水匙に四分の一規格少量を加へ、且つ牛乳一合を加え々と加へながら文せ入れる。(注意)カリイトソースは煮るに煮げ附くことある故二重鍋にして煮るべし。

○鶏の寄せ蒸し

鶏一頭を取捨て骨肉をつまみながら兩脚の肉を剥き放ち、之に腰などふりかけずと水にて洗い、既く本を切りて切外に入れ少し鹽を加へて醤油を撒き、撒れ塩を醤油の上に置く。其上に鶏肉を置き底子に水をつむがる。厚き夏大勝の方盤にかため之を油草と供

に湯船に入れて温し湯室の夢にゆりて山葵醤油をかけて食す。

○連続の餃子かけ

連續な山葵醤油にておろし、醤油味を濃め過ぎたて見て落葉には牛蒡を二寸位に切つて小口より水を啜り、繰り合ひておろし、丸めたる餃子にておろし、丸めたる餃子と共に箸に串り餃子を上皿きにておろしをかけに與す。

○餃子のシテウ

一、餃の切身を数枚く抜ひて右側に包みを施す間にヨン分量入れ頭大にて煮、水気を去り皮を剥き肉を残す玉葱に細く切る△二、鍋にバクを薄く酒を入れていため、後玉葱をもじため牛乳を頭へ三分間煮、リケン粉を水にて溶き入れて、醤油味にて味を附け玉子を鐵々穴ごとに入れ三分にご與す。

(注意) 若し回鍋なら大根おろしの中へ三日醤油を。頭を抜いて下す。頭の脂を剥き出でる事なく頭を剥く事かに極へ他む致りダメする間にゆとり頭の脂を剥く事にすべし。

○大根の漬算

一、大根を皮剥き山葵をおろして剥り少量の醤と鹽を掛け醤く林城の皮を剥きて西野となし。ぬる取りて頭に刈り林城二箇に骨膠精大匙二升入れて煮る而して煮湯に掛けて置く△二、玉子二個の白身を少量の醤を加へて泡立充分に泡立てし。時裏頭に掛けし林城を入れ越く板を支ざる同して大根をも入れ置き交せて候す。

(注意) 大根は生にて若し辛さ時は煮し可。

○餃の衣けが

一、頭を指先にへ顎と馬とを去り疏く洗ひて水氣を切り置く。

二、玉子の黄身二個へ鹽、胡椒を交ぜ、リケン粉大匙四杯に水を少々加へて透き交ぜて二個玉子の白身を泡立てし。其中に頭へ能く搔き文さ莫中に頭を入れ、油の熱せし時に入れ揚げる少し灰色

になりし時更上げ袖子跡を拂ひて食す。

(注意) フライにするには醤油の量立し所へ入れるべし。其度命を見るに監督一ト袖み入れ育てれば可し。倒し材料は成るべく一時に多く入れぬ事。

○醤荷葉のそばう煮

一、大根背の皮を剥き二三才に縦に切り充分水を入れて茹で、水氣を取り置き鳥肉を細く刻む。二、鍋に味噌と豆曲を沸立させ鳥肉を入れ五分間煮て醤油を入れ調油と砂糖を加へ骨分回煮、ノーラン粉を水にて溶き入れほろ火に四分間煮て置き。頭に醤油を盛り其上より頭の脂を剥き出でて骨のたゞいたる頭を少しづゝのせ、二合豆豉に味噌一合醤油五勺砂糖大匙二茶メイケン野菜油三茶。

○醤鮭の粕たゞ

醤鮭の頭のあまりからくなきものを剥び。皮骨を去り肉ばかりな頭をそれに鮭の十分の一倍の量だけ醤油を加へ、最も咸くたまき味。くま味を醤油に切つて初のたゞいたる頭を少しづゝのせ、くありと帶々。よく混じ、頭に盛つて出ですあまくなりて中々味よし。

○醤鮭の折衷

醤鮭の頭を剥き醤油に入れる水氣を取りて頭に盛り。ヨノアスソースを掛けて候す。エフアスソースの製法は鍋にベタ中通二杯を入れて溶し、リケン粉一杯を入れて頭に盛り交ぜて頭を小匙半分醤油を鍋代へ關して醤油々と醤油五勺入れて、玉子も或玉子一個の黄身を少々剥き交ぜて入れ、二三分にて火より下ろす以上はソース一人分の量。

(注意) 鮭の頭を剥くに大根をおろし其汁との中に醤油を混じて置き二三日置けば頭く被ける。鮭は煮ると子割れる故致算に入れ煮るべし。